

CT（Computed Tomography：コンピュータ断層診断装置）検査とは、X線を使って身体の断面を撮影する検査で、体内の様々な病巣を発見することができます。

造影X線CT検査は、通常の撮影では見分けることが難しい病変や小さな病変をより詳しくみる検査です。

1. CT造影剤（ヨード製剤）の安全性と副作用

造影剤はきわめて安全なお薬で、通常は体に何らの影響も与えずに尿や大便と一緒に排泄されます。

（1）禁忌事項

ヨードまたはヨード造影剤に対し過敏症のある方、重篤な甲状腺疾患のある方は、原則、造影検査を受けられません。

（2）主な副作用は次のようなものです。

①軽い副作用

吐き気、嘔吐、熱感、蕁麻疹、発疹等です。ほとんどの場合、無治療で軽減します。

このような副作用が起こる確率は約100人に5人以下（5%以下）です。

②重い副作用

呼吸障害、血圧低下、急性腎不全、意識障害等です。

このような副作用が起こる確率は約2,000人に1人未満（0.04%未満）です。

③ショックに至る副作用

非常に稀ですが、病状、体質によっては、重篤なショックから死亡に至る場合があります。

確率は10～20万人中1人（0.004～0.001%未満）です。

※副作用のほとんどは注射後まもなく出現しますが、まれに検査後数時間～数日後に副作用が出現する場合があります

2. 造影剤の投与方法について

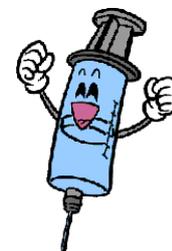
造影剤は血管（静脈）に注射します。造影剤が注射されると体が熱く感じるがありますが、すぐに元に戻ります。もし、気分が悪くなったときは声を出して合図してください。

造影剤は尿と一緒に排泄されます。検査後は水分を多めにお取りください。

3. 妊娠中、授乳中の方へ

妊娠中の造影剤を用いた検査は、原則、行いません。

授乳中の方は、48時間（最低24時間）授乳を控えてください。



4. 検査前の絶食について

検査4時間前の食事は控えてください。水やお茶などの水分はとって構いません。

※万一、副作用が起きた場合は、直ちに放射線科医師ならびに担当医師が対応いたします。

異常を感じたら、速やかにお知らせください。